

## 高等学校改革の推進に関する要望書

日頃から飯田下伊那地域の教育振興に対して格別なるご理解とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地域の高等学校改革の推進につきましては、平成19年12月10日にも要望し、ご理解いただいたところでございます。

その後、当地域におきましては、新校の具体像について、広域連合が設置した「高等学校改革検討小委員会」や広域連合議会において、公平・公正を旨に、地域と子ども達の将来を鑑みて真摯な論議を積み重ねて参りました。その結果、新校の基本的理念を始めといたしまして、学校規模や学科構成、更には校地等の具体的な事項に至るまで一定の方向をまとめ、関係地域のご意見もお聞きし、添付する中で、昨年10月24日に県教育委員会に要望いたしましたところでございます。

それを受け、県教育委員会におかれましては、改めて関係地域の声を直接聴取され、現地を確認される中で、昨年11月18日に開催されました臨時教育委員会におきまして、様々な視点から総合的にご賢察された結果、実施計画を決定されました。

当広域連合・広域連合議会は、予てより、今回の県教育委員会の決定を尊重し、その推進を図ることとしておりましたことから、その内容を重く受け止めますとともに、着実な推進を強く願って昨年12月1日に県議会議長に高等学校改革の推進の陳情をいたし、ご採択をいただきました。また同時に、知事ご提案の統合の事件案につきましても同意されたところでございます。

これらのことから、知事におかれましては、当地域の真摯な取組や苦渋に満ちた決断、或いは子ども達や地域の将来に寄せる思いなどをお酌み取りいただき、下記事項に誠意を持って取り組まれるよう、強く要望いたします。

### 記

1. 平成20年11月18日の県教育委員会で決定された実施計画により、飯田工業高等学校と飯田長姫高等学校の再編統合を推進すること。
2. この再編統合においては、再編計画の中で最優先に取り組み、ものづくりの拠点校(基幹校)に相応しい施設・設備を整備すること。
3. 残った校地校舎については、県及び県教育委員会が当広域連合や飯田市、更には関係地域と充分協議の上、その責任において有効利活用を図ること。

以上

平成 21 年 1 月 9 日

長野県知事 村 井 仁 様

南信州広域連合  
広域連合長 牧 野 光 朗

南信州広域連合議会  
議 長 上 澤 義 一